

駐 車 場 会 計

1 概要

本会計は、駐車場整備事業のうち駐車場整備事業債により措置される部分についての収支状況を明確にすることを目的として設置されたものである。その対象は、円山公園駐車場（令和3年3月31日現在、収容台数959台）であり、利用状況の推移は次表のとおりである。

駐車場利用状況の推移

（単位 台・千円）

区 分		28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
円山公園	台 数	169,444	173,875	206,797	207,926	121,951
	使 用 料	119,094	122,290	145,369	146,175	85,629

2 決算状況

本会計の決算状況は、歳入総額3億4,029万円、歳出総額1億2,694万円で、歳入歳出差引きで生じた2億1,335万円の剰余金は、これを翌年度に繰り越している。

決算状況を前年度と比較すると、歳入では3,320万円減少、歳出では924万円減少となっている。これは主として、歳入では新型コロナウイルス感染症の影響により円山動物園の入園者数が大幅に減少したことに伴い、駐車場利用台数の減により使用料が、歳出では修繕業務を先送りにしたことにより委託料が減少したこと等による。

歳入の主なものは、繰越金2億3,730万円（対前年度比3,177万円・15.5%の増）、駐車場使用料8,562万円（同6,054万円・41.4%の減）であり、歳出の主なものは、減債基金への積立金5,327万円（同783万円・17.2%の増）と委託料4,019万円（同1,576万円・28.2%の減）である。

予算執行状況は、歳入では執行率197.8%（前年度252.4%）、収入率100.0%（同100.0%）、歳出では執行率73.8%（同92.0%）である。

歳入及び歳出の決算状況は、次ページの表のとおりである。

歳入

(単位 千円)

科 目	予算現額	調定額	収入済額 A	執行率	収入率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
駐車場事業収入				%	%		
使用料	154,642	85,629	85,629	55.4	100.0	146,175	△ 60,546
繰入金	17,358	17,357	17,357	100.0	100.0	17,378	△ 20
繰越金	0	237,309	237,309	—	100.0	205,530	31,779
諸収入	0	0	0	—	100.0	4,416	△ 4,415
合 計	172,000	340,296	340,296	197.8	100.0	373,500	△ 33,203

歳出

(単位 千円)

科 目	予算現額	支出済額 A	翌年度 繰越額	不用額	執行率	前年度 決算額 B	増減額 A - B
駐車場事業費					%		
委託料	71,498	40,194	0	31,303	56.2	55,963	△ 15,768
積立金	53,279	53,279	0	0	100.0	45,446	7,833
繰出金	17,358	17,357	0	0	100.0	17,378	△ 20
その他	29,865	16,111	0	13,753	53.9	17,403	△ 1,291
合 計	172,000	126,942	0	45,057	73.8	136,190	△ 9,247

(資料 110～113ページ参照)